

# 京都発！ 我が社の強み



タマヤ株式会社

http://www.tamayakk.co.jp

工場一貫生産体制による短納期、低コスト、高品質を実現し地域連携・創生に情熱をかけて臨む!!

## 「紙わざ多才『きょうと元気な地域づくり』プロジェクト始動!!」

～産・学・青・福・官の連携による地域発信力の強化及びタマヤブランドの定着に戦略あり～



代表取締役社長 熊内 得二 氏

印刷紙器とラベルの製造販売、オフセット印刷などに加え、自前のデザイナーを擁し自由自在なパッケージング力で商品を生まれ変わらせる、そんな“紙わざ多才”を強みとするタマヤ株式会社の代表取締役社長 熊内得二 様にお話を伺いました。

### どんな会社?

当社は、1949年タマヤ紙器工業所として開設し、1971年に現在のタマヤ株式会社に社名変更いたしました。主に印刷紙器及びラベル・シール印刷を中心に製造販売を行ってまいりました。創業当時から蓄積した技術力、まさに“紙わざ多才”を駆使して、価値の提供に徹し、変革(イノベーション)に対応できるよう社員一人一人を変革し、企業活動を活性化させ、人間尊重、社会貢献、地球環境に優しい製品づくりといったことを経営理念としております。

欠けることのない事業経営を理想として社名を“タマヤ”としました。以来、初代社長の志は創業の精神として今日に受け継がれ、全社員の中に生き続けています。

タマヤの社章は“火の玉”をデザインしたもので、図柄としては一番小さな円は社員一同のファイトを象徴し、これが核となって大きな焰となり、繁栄の輪をより大きく広げていこうという願いを表わしています。なお、この社章は全従業員が提案したものの中から選ばれたものです。



### 「タマヤ」とは

「タマヤ」の社名についてご紹介したいと思います。初代社長の梅垣恒二郎は「商人は信用第一であり、角があってはならない」という堅い信条を持ち、どこから見ても円滑な、

### 強みの技術

得意とする技術は、近畿エリアで2、3社しか所有していない機械を導入しているだけでなく、既存の機械をうまく活用・組み合わせることで他社ではまねのできない特殊な加工ができることが強みの一つとなっています。具体例としてオフ

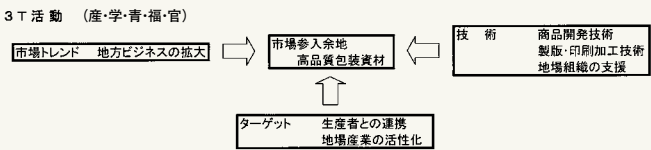
### 工場一貫生産による短納期・低コスト・高品質の実現



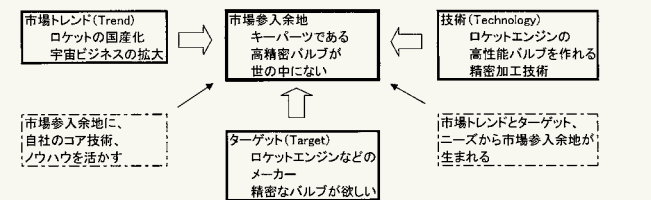
セット印刷では、コーターユニットを活用した剥離ニスによる、ザラザラとツルツルを表面に施した「疑似エンボス加工」のほかにプリスター糊、食品ニス、水性ニスなどバリエーションに富んだ表面加工を得意としています。

### 下町ロケットと3T分析

みなさまもよくご存じの「下町ロケット」で駆使されていた「3T分析」とは、市場トレンド(Trend)、顧客ターゲット(Target)、自社技術(Technology)から市場への参入余地を見つけ出す方法のことで、『きょうと元気な地域づくり』プロジェクトでも「3T活動」と称し参考にさせていただいています。



3T分析  
市場トレンド(Trend)と顧客ターゲット(Target)、自社技術(Technology)から、市場への参入余地を見つけ出す手法。

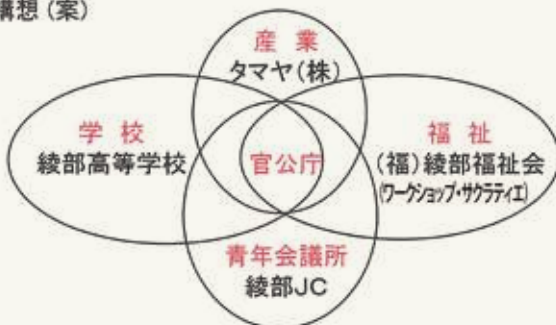


### 地域連携・創生によるネットワークづくり

当社では、今後の会社の発展を考えるにあたり、地域連携・地域創生を図ることが必要不可欠であると考えています。まずは、地域連携を行い地域発信力の強化による地盤固めとタマヤブランドという地域ブランドの普及・定着を図るため、京都府北部エリアの産・学・青・福・官が一体となって連携する「きょうと元気な地域づくり」プロジェクトを提案・始動させております。

具体的には、地元の綾部高校由良川キャンパスで生産されたクッキーを、当社製版部門の技術支援により梱包資材を共同開発して、クッキーとともに綾部高校ブランドの定着を目指しています。併せて、納入先も綾部特産館とし、あやべバラ園もPRしながら綾部の御土産品として定着させるこ

#### 連携の構想(案)



とを目的としています。

この取り組みの成果として、当社と同高が共同開発した「組み合わせ自在化粧箱」が「2016日本パッケージングコンテスト」(日本包装技術協会主催)の菓子包装部門賞を受賞することができました。この箱は1個1個のデザインを組み合わせることによってイメージを変化させるもので、ニーズに合わせて自在にデザインが変更できるため陳列にもバリエーションある工夫が楽しめます。

### イチオシの社内事業

今後、注力する事業として考えているのは、「ラベル・オンデマンド印刷」です。小ロットから大ロットそして屋内から屋外までさまざまなニーズに対応していくことです。オンデマンド印刷では、1枚から納品可能な生産体制で金、銀、フィルム、表面加工の施された特殊紙などに印刷できますし、ノベルティや期間限定使用の印刷物に使用することができます。また、多様化するニーズへの迅速な対応策としては、作業効率と生産性を高めた、CTPを使用したフルカラー印刷機を導入し、大ロットの注文にも素早く対応できるのも大きな強みとなっています。

最後に、「パッケージ」は、商品よりも先に、手にする方の目に触れるものであり、「商品」そのものと言えます。わたしたちは、形を自在に変えることのできる『紙』という材料から、無限に広がる「パッケージ」の可能性に積極果敢に挑戦するとともに、地域連携をさらに進め地域ブランドの定着化により京都府北部の発展に貢献できればと考えております。時代の変化・ニーズを的確にとらえながら、お客様に満足いただけるよう更なる高品質・個性ある製品づくりを進めてまいります。



組み合わせ自在化粧箱



SL弁当

### Company Data

### タマヤ株式会社

代表取締役社長／熊内 得二  
所在地／〒623-0011 京都府綾部市 青野町下入ヶ口12  
電話番号／0773-43-4301  
ファクシミリ／0773-42-0797  
設立／1949年  
資本金／5000万円  
従業員／80人  
事業内容／印刷紙器及びラベル・シール印刷を中心とした製造販売



お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp